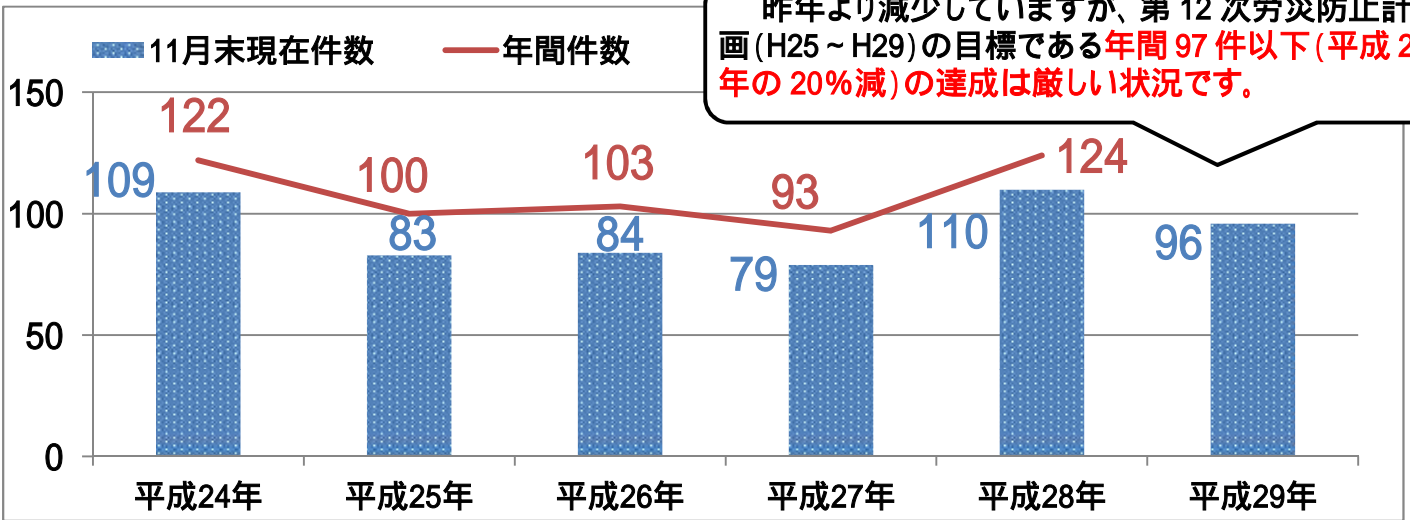


ストップ 労働災害！

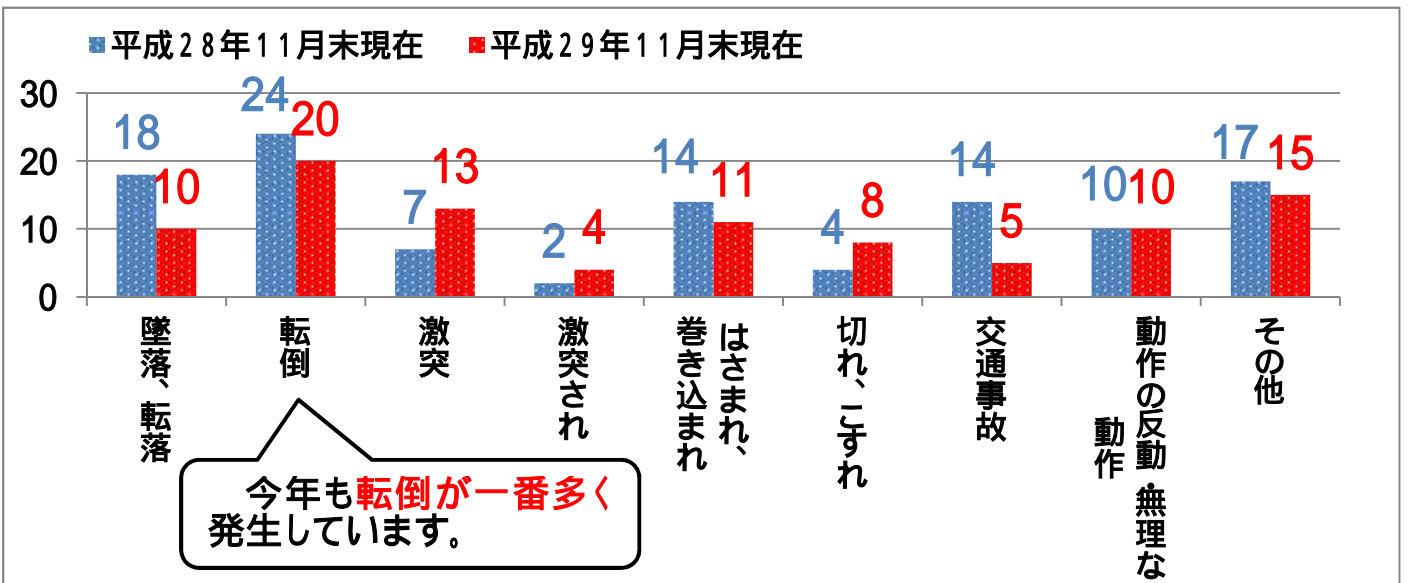
H29.12 徳山労働基準監督署

1 今年(11月末現在)の労働災害発生状況(徳山労基署管内 休業4日以上)

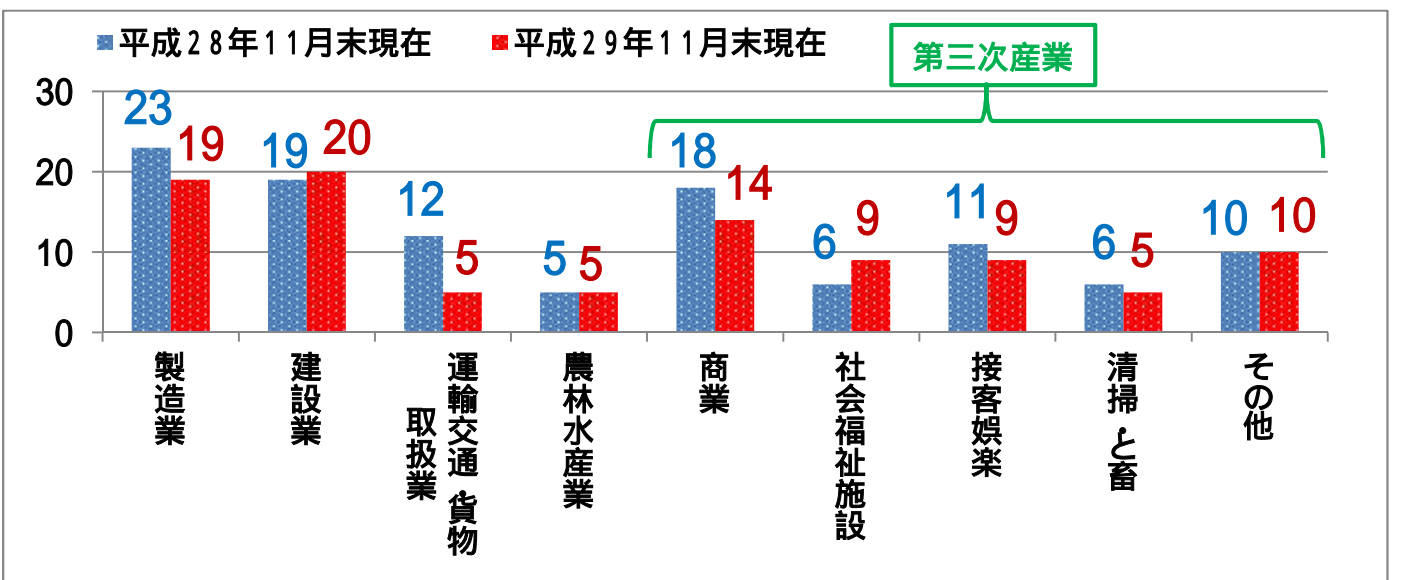
昨年より減少していますが、第12次労災防止計画(H25~H29)の目標である年間97件以下(平成24年の20%減)の達成は厳しい状況です。



2 事故の型別でみた労働災害発生状況(徳山労基署管内 休業4日以上)



3 業種別でみた労働災害発生状況(徳山労基署管内 休業4日以上)



<平成29年の災害発生傾向と対策について>

1 製造業

製造業の19件をみると、クレーン作業中につり荷と他の物にはさまれる災害が5件発生しています。

つり荷が落下するおそれのある範囲に入らない、つり荷の調整は介添えロープ等を使用し極力手で触れないことなどに留意してください。

また、転倒が4件発生しています。数cmの段差での転倒でも、骨折して長期休業するケースが多くみられます。通路は極力段差をなくし、整理整頓してください。



2 第三次産業

第三次産業の47件の内訳は、転倒12件、激突6件、交通事故5件、腰痛5件などで、今年も転倒が一番多く発生しています。

交通事故については、これからの冬季、凍結路面でのスリップ事故などが多発する傾向にあるので、一層注意してください。

腰痛は重量物を抱えた際や、背伸びをして物を取ろうとした際にも発生しています。「職場における腰痛予防対策指針(H25.6.18)」を参考に、重量物を取り扱うときは不自然な姿勢での作業を避けることなどに留意してください。



3 「激突」災害

「激突」災害は「人が主体となって静止物または動いている物にあたった場合」の災害で、昨年に比べて大幅に増加しています。

「激突」災害の13件を見ると、手すりのない階段でバランスを崩して飛び降りたり、はしご上を移動中にはしごが倒れたりといった、墜落・転落防止と対策が共通するものが半分以上の7件あります。

階段は手すりを設けてつかみながら昇降する、はしごは転移防止のため固定して使用する、トラックの荷台等の比較的低い所から降りる際も飛び降りない等、安全な行動をお願いします。



本リーフレットは山口労働局のホームページにて掲載していますので、サイト内検索で「ストップ労働災害」と入力して検索してください。